すずらん

No.30

発行日：2008年12月25日
発行元：社会福祉法人すずらんの会
理事長　大長　義信
相模原市麻溝台7-1-7
TEL　042-749-8881
URL　http://www.suzuran.or.jp
E-mail　kouhou@suzuran.or.jp

✏「すずらん」へのご意見・ご要望・ご感想などありましたら、ぜひ電話、メールを送ってください。

特集　自立支援法～多自総論～

ワークセンターやまと ～施設外作業開拓の取り組み～

△作業の様子：カタログの差し替え

今春グリーンハウスから独立、障害福祉サービス事業所就労移行支援「ワークセンターやまと」としてスタートし、早くも半年が過ぎました。施設開所当初から一般就労を視野にいれ、施設外作業での活動に力を入れてきましたが、以前から仕事をいただいていた㈱マイプレシャス様（大和市鶴間）のご協力を得て、新たな施設外作業先として利用者４名、職員１名が活動を始めました。

仕事の内容は引き出物用商品カタログを新しい内容のものへの差し替え等です。カタログは何十冊もまとまると大変重く、納品配送時に運べる量が限られ、仕事が沢山あるのに施設に多量の受注を頂くのが困難という現状がありました。そこで企業内で作業させていただく施設外作業という取り組みについて提案しました。これまでの企業御担当者と施設職員との日常的な打合せの積み重ねや、施設内で受注した作業を通して利用者の作業力への信頼等があり、協力をいただくことが出来ました。そして試行期間を経て、10 月から本格的に実施できる運びとなりました。利用者が経験している作業内容であったことと、専用の作業場の設置など環境整備による集中力の向上により、施設内で行っていた時よりも効率よく作業が行われています。また折にふれて会社の方から声をかけていただき、施設の中では経験できない社会人としての生活が体験できています。

今回の展開で、改めて仕事に対する意欲や社会人としての意識づけ等、施設外作業での支援の有効性を実感しています。今、施設内で職業訓練を受けている利用者の方にも施設外作業の体験ができるよう準備しなければと思います。新たな施設外作業受入企業の開拓の必要性を痛感しますが、その開拓は大変困難なのが現状です。地域の他企業に向けても障害者の働く力、地域で当たり前に暮らしたいという希望をご理解いただけるように働きかけることも私たちの職務と肝に銘じて鋭意努力していくつもりです。

＜ワークセンターやまと　高橋＞

仕事に就く

理事長　大長義信

年の瀬も押しせまって、なにかと変化変動に揺れ動いたこの一年を振り返って見る事が多くなっています。毎日の生活に直接影響を及ぼしたのは、何と言っても原油価格の暴騰でしょう。秋口からはさすがにピークは過ぎた気配ですが、原油高によるガソリンや穀物の価格上昇に伴った電気，ガスを初めとする諸物価の値上げの話が続いています。又、昨年のアメリカに端を発した金融危機は、全世界を巻き込み百年来とまで言われる未曾有の経済危機を招き、企業業績に重大な影響を与えているようです。それでなくても福祉分野の経済は厳しく絞られてきているので、これから先どうなっていくのか法人経営の帰趨は予断の許されない状態が続くことでしょう。

国際的な景気動向も福祉分野の私達にも決して無縁ではなく、法人施設を利用している障害者が携わる授産作業にも、下降傾向にある企業業績が影を落とし始めています。多くの地元有力企業から障害者の工賃となる仕事を頂いたり、或いは企業の中で働く場を提供してもらっているのですが、この仕事量に変化が見られるようになって来ました。

このまま仕事量の減少と単価の低迷が続けば「工賃倍増計画」も何処の世界の話かと言う事にもなりかねません。障害者自立支援法という今の制度に後押しされるようになる前から、私達は法人を利用してくれている人達の工賃をどうしたら上げることが出来るかに永年腐心して来ましたが、こんな時にこそ、障害者の授産作業を利用する企業側のコストメリットを見直して頂けないものかなどと勝手な事を考えています

フェスタすずらん2008

光明学園相模原高校和太鼓部のみなさん

ウクレレマイスターズとフラの共演

2008 年 10 月25日（土）、グリーンハウスにて「フェスタすずらん２００８」を開催しました。当日の天気予報が雨でしたが、イベント委員全員の願いが通じたのか、絶好のフェスタ日和となりました。

ステージでは、光明学園相模原高校和太鼓部の皆様による演奏、麻溝台高校バトン部の皆様のバトン演技、エクアドル音楽のココリンゴの皆様、座間養護学校の先生方によるウクレレの華麗な演奏、WAKUWAKU の皆様による本格的なゴスペルソングの素敵な歌声などが響き渡りました。利用者の余暇サークルであるサウンドタイムの演奏もあり、メンバーが日頃の練習の成果を存分に発揮していました。

ステージ付近では焼きそばやたこ焼き等の模擬店が並び、売り切れが出るほど賑わっていました。今回は近隣の飲食店・オリエンタルレストラン SUIREN 様からもご出店いただき、地域のつながりを感じることが出来ました。

今年の司会はこの人！

グリーンハウス１階でも、自主製品の販売やバザー等で大いに賑わい、バザーの売上げはなんと去年の 1.5 倍増に達しました。２階では法人の各エリアの紹介展示を行いました。階下の賑わいに比べ、やや静かでしたので、みなさんにもっと興味を抱いて頂けるような展示内容にしなければ…という印象を持ちました。

ゴスペルの素敵なステージ

大勢で賑わうフェスタでは、就労などで施設を離れ久しぶりに会う利用者もおり、一段と頼もしい顔になっているようで嬉しく思いました。みなさんに会える機会であることは、フェスタの楽しみの一つでもあります。

運営の方では、委員会として反省する点も沢山ありました。来年はこの反省を生かしてスムーズな運営ができるよう頑張りたいと思います。

また、フェスタは地域の方々とすずらんの会が交流し、すずらんの会の活動を知って頂くために開催しています。その目的を忘れず、今後も充実したフェスタにして行きたいと思います。当日ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

〈イベント委員会　井上〉

活動のひとコマ

家庭内作業支援サービス　フレンドリーサービス

家庭内作業支援サービスとは、諸事情により在宅で過ごしている障害を持った方々のご家庭を訪問し、家庭内でできる範囲の作業をお届けし、作業の指導をしながら地域の人々との触れ合いなど社会参加への意欲の向上を目的としたサービスです。

現在はクリーニング店などで使用される衣料品用防虫剤をセットする作業を提供しており、1 週間でこなせる分の作業を届け、一人ひとりのペースに合わせて取組んでもらっています。単なる作業の提供ということではなく、一緒に作業をすることを通じて利用者の方に働く喜びや社会参加への意識を持っていただくよう支援していくことが私たち職員の仕事であり願いでもあります。作業が難しいという場合には、お話や散歩など、一人ひとりのペースやその時のニーズに合わせた支援を行ない地域とのパイプ役になれるよう努めています。また、訪問時は利用者本人だけでなくご家族の相談にも応じます。そのような家族への支援も大きな役割だと思っています。

利用者の方やそのご家族からは、他者との触合いのきっかけとなり外出の機会が増えたなどうれしい声もいただいています。このサービスが社会参加につながる一歩であって欲しいといつも思っています。

このサービスは、相模原市独自の事業であり、障害者自立支援法の制度的には無いサービスですが、このサービスを望んでいる方々は決して少なくないと思います。神奈川県で唯一の事業所※として、これからも在宅障害者の社会参加に向けた力になれるよう頑張っていきたいと思います。

〈フレンドリーサービス　久保〉

ピックアップ！

※唯一の事業所の理由（家庭内作業支援サービスの沿革）

・神奈川県のサービスとして県内５事業所で運営を開始しました。平成 15 年相模原市が中核市となり、市の制度下での運営となりました。

・平成 17 年１２月に“17 年度末で県域の事業としては廃止”という県の方針が出され、相模原市としてもこの事業の存続について、すずらんの会を交えた検討をしました。廃止の場合、利用者の救済措置がとれないことが判り、検討を続けながらもサービス提供の続行が決まり、他の４事業所は H18 年度末までに廃止となりました。

・平成 18 年 10 月には障害者自立支援法が施行となりましたが、新法移行は、利用者負担金等がネックとなり、現行利用者の皆さんは不賛同でした。

・現在、新法事業への移行を視野に入れつつ市単独事業で当面存続の方向です。

すずらんの会通信講座
法で定められている企業の障害者雇用率（1.8%）について①

社会保険労務士　藤田典子（敬称略）

◆「障害者の雇用の促進等に関する法律」の目的

障害者の社会参加には、様々な形態がありますが、もっとも基本的なものは職業を通じての社会参加です。障害者の雇用の促進を図るための法律として「障害者の雇用の促進等に関する法律」があり、「障害者雇用率制度」や「障害者雇用納付金制度」などを設けて、企業への雇用の場の確保を進めています。

◆「障害者雇用率制度」

この制度は、社会連帯の理念に基づき、民間企業や官公庁を問わず、各事業主が平等に雇用しているという状態を実現することにあります。この平等の割合が雇用率になります。

現在民間企業では、1.8%であり、56 人以上の労働者を雇用する事業主は労働者数の 1.8%以上の障害者を雇用しなければなりません。

◆民間企業における障害者の実雇用率

平成１９年度６月１日現在の民間企業における障害者の実雇用率は、全国で１．５５%、神奈川県は１．４５%、前年より０．０４ポイント上昇していますが、全国ワースト２位です。相模原市でみると１．４２%、しかしこの数値には裏があります。相模原市は現在１２００名の障害者が働いていますが、そのうちの半分以上が大手工場の本社がある東京都や他県で雇用率をカウントされています。

◇　次号内容：法で定められている企業の障害者雇用について②

「障害者雇用納付金制度とその罰則」、「改正障害者雇用促進法案の内容」について掲載します。

第26回市民福祉の集い　表彰されました！

9 月 21 日、相模原市民会館ホールで開催された「第 26 回市民福祉の集い」において、グリーンハウスを利用している青山秀幸さんが社会福祉功労者として表彰されました。青山さんは、昨年行われた全国障害者スポーツ大会（陸上競技 800m、1500m）で、大会新記録で優勝というすばらしい成績を収めています。また、ホームすずらんの職員遠藤も、多年にわたり障害者福祉施設に勤務し社会福祉の向上に尽くしたということで、同じく表彰されました。おめでとうございます。これからもご活躍を期待しています。

新任職員紹介

９月より、グリーンハウス受注班で勤務しています。以前は知的障害者の施設や高齢者のデイサービスセンターなどで働いていました。グリーンハウスに来て、利用者の皆さんの一生懸命仕事に取り組む姿勢や、責任感の強さに驚くと共に感心させられました。自分も負けないように頑張っていかなくては、と気持ちを引き締めているところです。よろしくお願いします。

〈グリーンハウス　石田　秀紀〉

気がつくと福祉の仕事に携わり１０年以上の月日が経ちました。とくに今年は、進学と自立支援センターの入職が重なり、時間の経つのが本当に早く感じます。一度しかない人生の、その人らしい生き方を尊重し、そのときに後押しをできたらと思います。

〈大和市障害者自立支援センター　清水　秀樹〉

職員募集！

すずらんの会の下記事業所では、職員募集をしています。
お気軽にご連絡ください。

あいあいＳ

有資格者（介護福祉士・ヘルパー２級・ガイドヘルパー移動介護従事者）であれば、年齢性別を問わず、お待ちしています。

連絡先：０４２－７７７－６７７６

ホームすずらん

グループホームで利用者の生活支援をします。特別な資格は、不要です。

連絡先：０４２－７４０－６８７８

広げよう職員のわっ！

すずらんの会唯一の高齢者部門を担当しているあいあいＳのケアマネジャー平原さんを紹介いたします。知識・経験が非常に豊富な方でわからないことがあれば何でも答えてくれます。今後もすずらんの会で「高齢者に関することなら平原さんに！」という風になっていくことでしょう。

〈ワークショップフレンド　佐久間〉

～ご寄付をいただきました～

■ すずらんの会　父母会　様

この場を借りて、御礼申し上げます。
ありがとうございました。

すずらんの会後援会では、会員・賛助会員を募集しています

問合わせ先

〒228-0828　神奈川県相模原市麻溝台７－１－７
すずらんの会　法人本部内　すずらんの会後援会
０４２－７４９－８８８１

編集後記

◆広報誌は平成７年２月に創刊され今回で３０号になりました。創刊号のすばらしい内容を見るともっとがんばらなければと思いつつ、次号に託します。（Ｓ）

◆記念すべき30号の編集に携わる事が出来、至極の喜びです。50号が出るのを楽しみにがんばるぞ～。（Ｈ）

◆編集を終えて、ひとまず安堵です。冬の空と冷たい風が心地よく感じます。（Ｋ）